

## 令和4年度第2回我孫子市在宅医療介護連携推進協議会 議事録

開催日時 令和4年8月25日(木) 午後6時30分から午後7時15分

開催場所 ZOOM 会議

出席者 委員：16名

佐藤昭宏、池亀翔、小川英郎、荒井英徳、和久井綾子、小野武弘  
志賀徹、佐々木美保、志村春美、大野優子、吉田光成、宮崎淳子  
荒川千草、大野令子、星良子、岡安一将

国保年金課：2名

澤井主任、山梨主任

事務局：3名

高齢者支援課 長島主幹 千歳係長 藤内

傍聴者：なし

司会：歯科医師会

### 【議題】

#### (1) 令和4年度部会活動計画

以下、報告書の通り報告する。質疑なし。

#### <協議会が目指すもの>

誰もが、医療やケアが必要になっても、人生の最期まで、自分らしい暮らしをあきらめない地域を創造するため、住民の意識の醸成、専門職の知識・技術の向上を図り、多職種が効果的に連携できる体制を構築すること。

### 1. 在宅医療・介護連携の推進

#### <協議会の開催>

多職種連携による在宅医療・介護の支援体制の構築と、地域における包括的な支援体制づくりを推進するために協議を行う。年4回開催する。

令和4年度 第1回 令和4年 4月21日(木) ZOOM・リモート開催

第2回 令和4年 8月25日(木) ZOOM・リモート開催

第3回 令和4年 11月24日(木) ZOOM・リモート開催

第4回 令和5年 3月 2日(木) ZOOM・リモート開催

### 【情報システム部会の目的】

誰もが、医療やケアが必要になっても、人生の最期まで、自分らしい暮らしをあきらめない地域を創造するため、多職種が効果的に連携できる仕組みを検討する。

①情報共有システム部会

年2回実施予定

第13回 令和4年7月25日(月)午後6時30分から(ZOOM会議・リモート開催)

第14回 未定

②あびこケア・リンクの利用促進

○市内事業所へあびこケア・リンク登録依頼送付

○あびこケア・リンクの使い方講習会の実施

目標数 アカウント登録者数 320人

目標数 事業者登録数 133事業所

2. 在宅医療・介護連携に必要な知識の向上

**【研修部会の目的】**

誰もが、医療やケアが必要になっても、人生の最期まで、自分らしい暮らしをあきらめない地域を創造するため、多職種交流会を活用し、専門職の知識・技術の向上を図り、多職種が効果的に連携できる体制を検討する。

①研修部会

交流会及び研修会の運営、専門職の知識向上のための企画を行う。

年2回実施予定

第13回 令和4年7月4日(月)午後7時00分から(オンライン)

第14回 日時未定

②多職種交流会の開催

在宅医療に関わる専門職の必要な知識の向上と、在宅医療・介護の支援効果を最大化させるために必要な多職種連携の在り方について考える。

○全体交流会：市内全域と近隣市の専門職を対象に開催する。

第11回 多職種交流会 10月頃を予定

○地区別交流会：市内を東西に分けて開催する。

第5回 西地区交流会：我孫子・天王台地区 実施しない予定

第5回 東地区交流会：湖北・湖北台・新木・布佐地区 実施しない予定

\*余力があれば、多職種交流会全体会として実施。

③多職種交流の機会の確保

○各団体等で多職種が参加できる研修等があれば情報提供するなど相互参加を促進する。

### 3. 市民への在宅医療・介護の普及啓発

#### 【広報部会の目的】

市民が、在宅医療・介護の具体的なイメージを持てるよう、啓発活動を行う。また、終末期の具体的なイメージを持てるよう、家族や身近な支援者との対話を促進する。

#### ①広報部会

令和4年度	第1回	令和4年	6月23日(木)	ZOOM・リモート開催済
	第2回	令和4年	10月	ZOOM・リモート開催(予定)
	第3回	令和5年	1月	ZOOM・リモート開催(予定)
	第4回	令和5年	3月	ZOOM・リモート開催(予定)

#### ②「広報あびこ」への定期掲載

「広報あびこ」への在宅医療・介護に関する記事の定期掲載や講話を通じて、市民に在宅医療と介護の連携についての啓発活動を行う。

第19回	令和4年6月16日号	担当：我孫子市薬剤師会
第20回	令和4年9月16日号	担当：介護サービス事業者連絡会
第21回	令和5年1月16日号	担当：高齢者なんでも相談室
第22回	令和5年6月16日号	担当：介護支援専門員連絡協議会
第23回	令和5年9月16日号	担当：リハビリテーション協会
第24回	令和6年1月16日号	担当：医師会

#### ③市民向け講演会の開催

在宅医療に関する市民向け講演会を開催。

- ・開催時期：3月上旬
- ・テーマ：看取り
- ・場所：ハイブリット型（ZOOM開催と会場開催（市民プラザ）の両方）
- ・時間：午後1時30分から午後3時30分
- ・対象者：一般市民

#### ④在宅医療・介護連携リスト内容見直し

内容：現状通り。訪問歯科診療の申込書は廃止。地区ごとにまとめる等、わかりやすい内容にする。紙媒体での配布は廃止とし、データ配布とする。データ化の方法については、今後情報部会と協議し、検討していく（ケア・リンクとの連携等）

#### 4. その他在宅医療・介護に関すること

＜認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催＞

認知症初期集中支援チームの活動状況の報告及び検討を行う。

#### 5. 我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会が目指す方向性の具体化と見える化

＜協議会での議論の中で方向性を検討＞

- ・協議会が目指すビジョンを明確化
- ・KDBデータの活用
- ・評価指標の設定

(2) 東葛北部圏域 在宅医療・介護連携に関する5市連携会議報告  
報告書の通り報告する。質疑なし。

(3) 在宅医療・介護連携推進協議会への栄養関連団体の参画について

#### 【経緯】

関東学院大学前教授の松崎政三氏（管理栄養士）から、市と関東学院大学、東葛北部栄養ケアステーション3者による共同研修の提案があった。どのような取り組みを行うか検討した結果、市の配食サービス利用者に対する栄養改善調査を実施した。

#### 【配食サービス利用者へのアンケート調査の実施】

令和4年1月～2月に、市の配食サービスを利用している111名（和楽園10名、久遠苑13名、アコモード14名、ニコニコキッチン74名）を対象にアンケート調査を実施。

配食サービス満足度、食事摂取状況、健康状態、通信手段やインターネットの利用状況等の項目について調査を行った。

中間報告として、配食サービスの満足度は高く、概ね対象者に適したお弁当が提供されていると考えられることや、「安心感が得られるようになった」など、安否確認以外にも配食サービスが果たす役割が示された。通信手段や情報収集の状況については、テレビが半数を占め、4割強は通信機器を利用していないことに加えて、新聞購読者も半数であることがわかった。調査結果がまとめ次第、報告させていただきたい。

#### 【現状】

天王台地区高齢者なんでも相談室において、市の管理栄養士が配食サービス利用申請時の面接に同席するなど、栄養改善に向けた助言等を実施することとなった。

## 【提案】

高齢になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる地域を創造するためにも、フレイル予防の視点は重要と考える。その中でも栄養に関する視点から対策を協議していくためにも、在宅医療・介護連携推進協議会への栄養関連団体の参画を提案したい。

質疑あり。下記内容のとおり回答。

(荒井歯科医師)

関東学院大は今後も参画するか。

(事務局)

参画する予定はない。アンケートの最終結果をもらう予定。

以上、報告書どおり報告する。異議なし。今後は、栄養関連団体を参画する方向で採択する。

(7) 「認知症初期相談チームあびこ」の報告

非公開のため記載せず。

(8) その他

(我孫子市天王台地区高齢者なんでも相談室 大野室長)

RUN伴+ (ランともプラス) あびこの実行委員長として一言ご挨拶させていただきます。認知症であっても在宅で生活し続けるということでも認知症ケアを非常に重要なことと考え、市と共催という形でなんでも我孫子のイベントを今年も開催させて頂くことになりました。今日ご参加いただいている関係団体の皆様に協賛いただきましてありがとうございます。現在オレンジデーということで開催させて頂いており、引き続き皆様にもご協力頂ければと思います。この場を借りて御礼申し上げます。

(事務局)

先程議題2で5市連携会議の報告をしましたが、5市会議の報告の中では市内の各団体の在宅医療介護の連携についての取り組みが報告されていました。今後、我孫子市としても各団体の在宅医療介護の連携についての取り組みを取りまとめさせて頂き、協議会等で報告や検討材料としたいと考えています。今後、各団体にアンケートを送付させて頂いただければと考えているのでご協力お願いします。

次回の開催予定：第3回 令和4年11月24日(木) 午後6時30分から午後8時  
会場：ZOOM会議(リモート開催)  
司会：薬剤師会